

ノリ養殖環境速報 KH-02-07 (播磨灘)

令和3年1月4日 調査
 令和3年1月6日 発行

【概況と今後の動向見込み】

表層のDIN濃度は、東部、西部海域共に低い値で推移しています。

大型珪藻のユーカンピアが北部沿岸を中心に増加傾向です。コスキノディスクスワイレシーは播磨灘の広い範囲で確認されましたが、細胞数は少なめです。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並みの見込みとされており、海域全体の栄養塩濃度は現状維持か、徐々に低下していくと想定されます。

・兵庫県の情報: <http://www.hyogo-suigi.jp/>

・岡山県の情報: <https://www.pref.okayama.jp/page/579394.html>

・香川県の情報: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

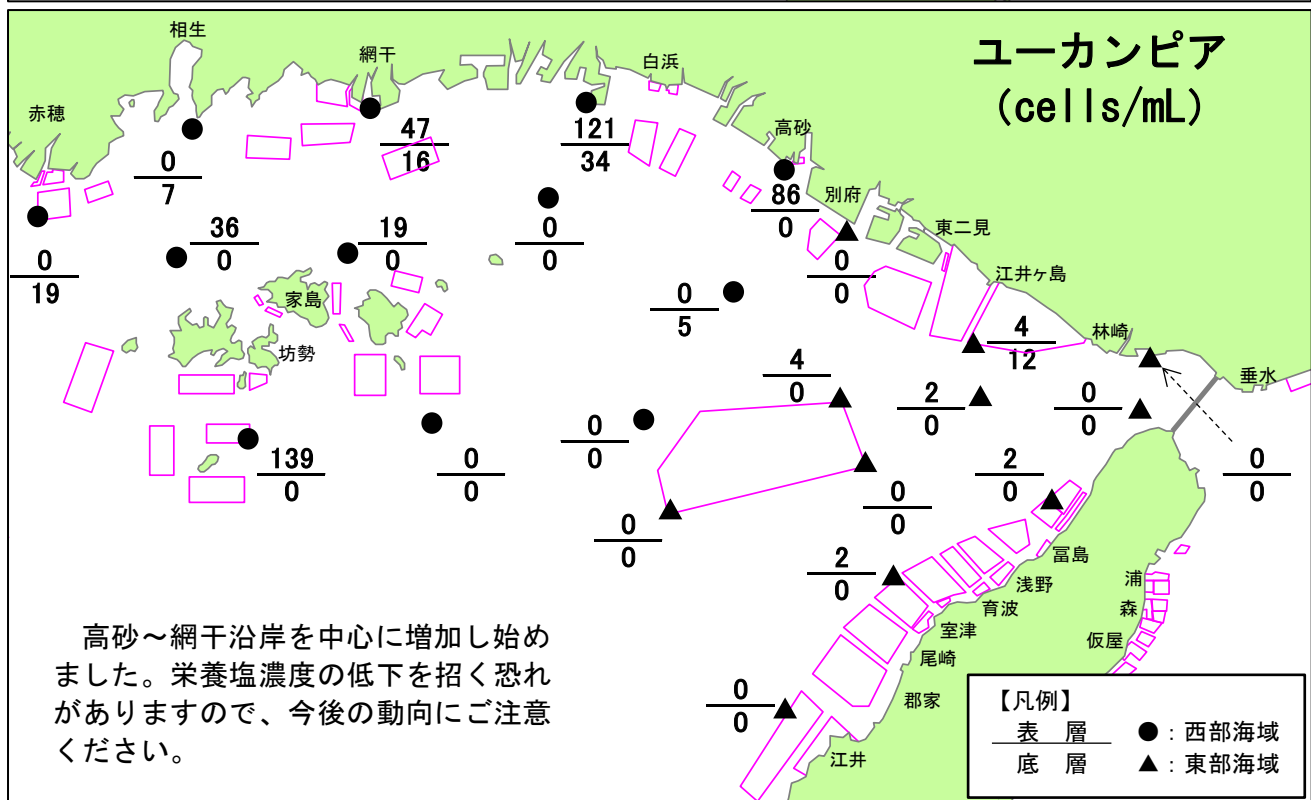
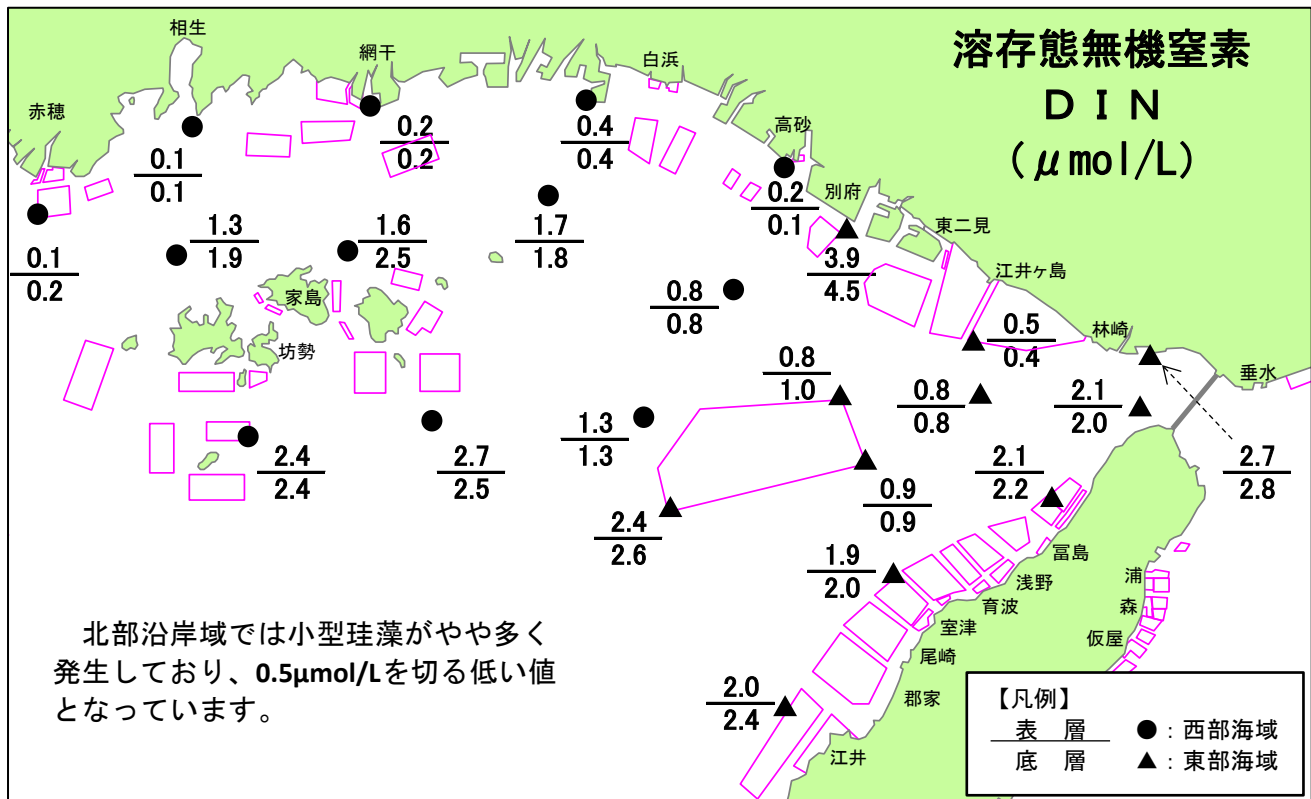
【次回】 令和3年1月15日発行予定

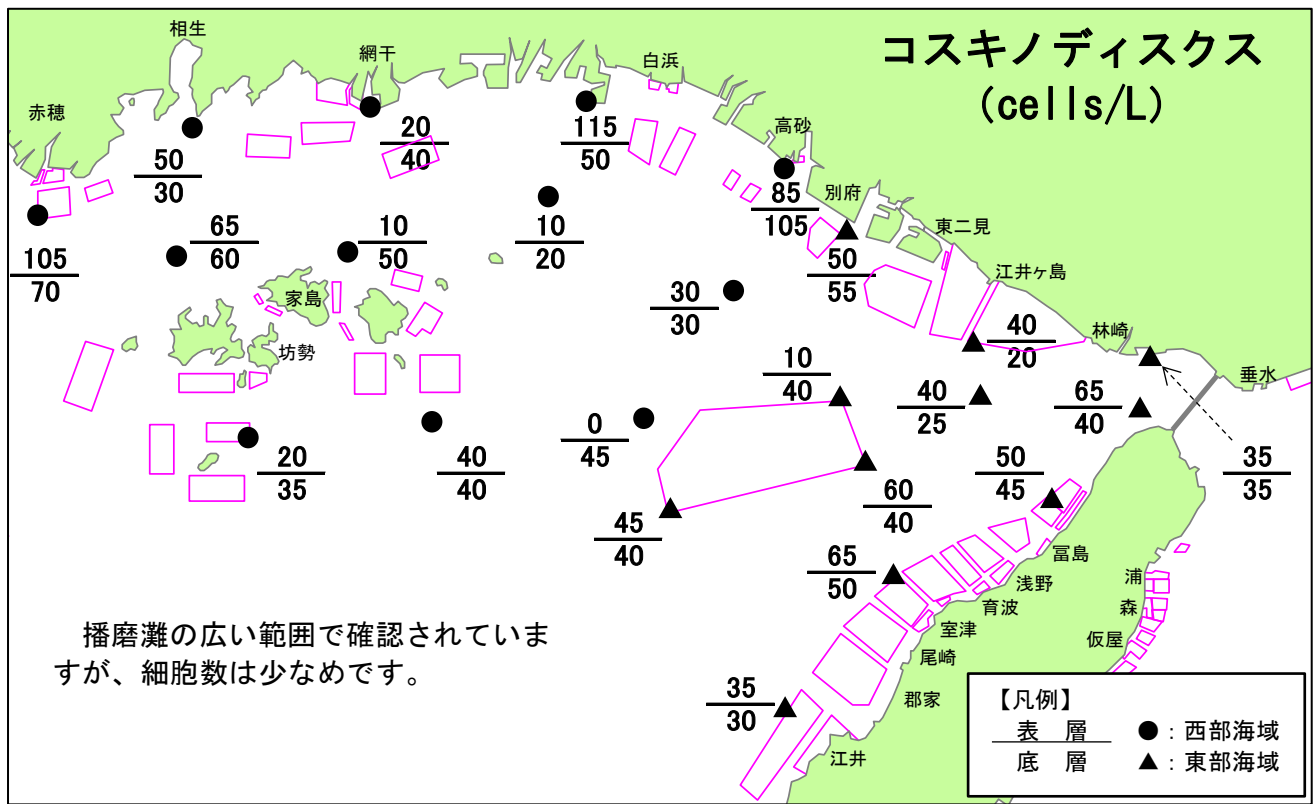
【参考】 栄養塩の単位

$\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

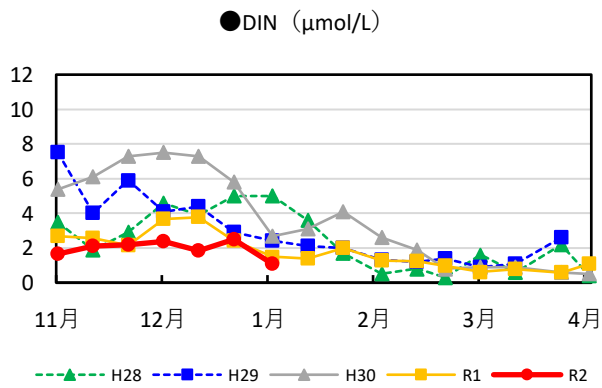
【表層水温(°C)】

白浜以西: 9.5 ~ 11.1, 家島諸島周辺: 11.1 ~ 12.4, 江井ヶ島・高砂周辺: 10.2 ~ 11.1, 明石海峡付近・西浦: 12.2 ~ 12.4, 鹿ノ瀬周辺: 10.9 ~ 12.2

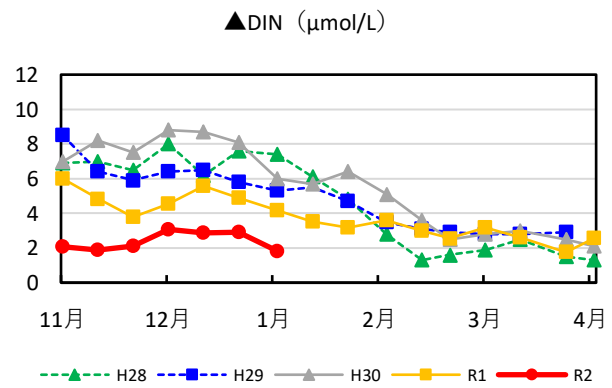




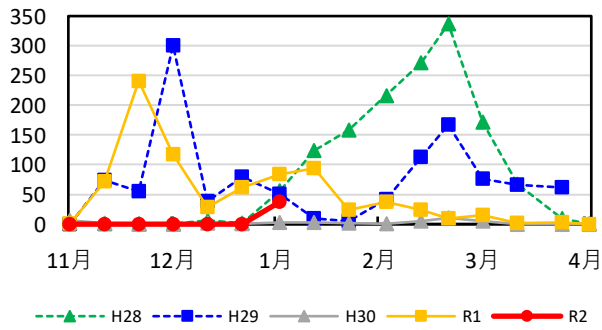
西部(●)12点 表層 平均値



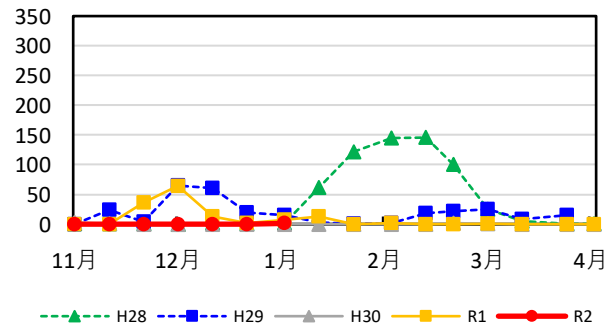
東部(▲)11点 表層 平均値



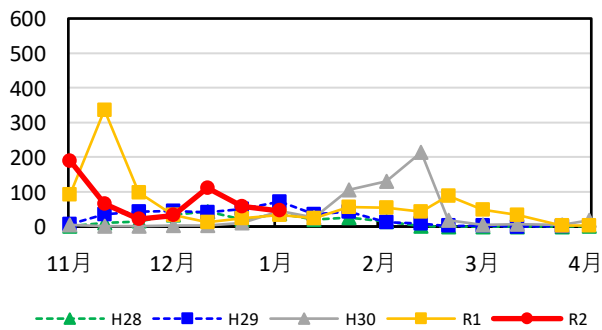
●ユーカンピア細胞密度 (cells/mL)



▲ユーカンピア細胞密度 (cells/mL)



●コスキノディスクス細胞密度 (cells/L)



▲コスキノディスクス細胞密度 (cells/L)

